

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronic and Information Technology Industries Association

JEITA RC-5242

携帯電話用複合I/Oコネクタ
Composite I/O Connector for Cellular Phone

2008年6月制定

作 成

接続部品標準化専門委員会

Technical Standardization Committee on Connecting Components

発 行

社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

まえがき

この規格は、社団法人 電子情報技術産業協会 電子部品部 接続部品標準化専門委員会 コネクタグループが **JEITA 基準 TSC-16**（電子情報技術産業協会規格類の作成基準）の様式によって作成した個別規格である。

電子情報技術産業協会規格

携帯電話用複合 I/O コネクタ

Composite I/O Connector for Cellular Phone

1 適用範囲

この規格は、IMT-2000 携帯電話用コネクタ A プラグ (JEITA RC-5238A) とも結合する、携帯電話の充電用、通信用及びオーディオ用の複合インタフェースコネクタについて規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格引用のうちで、発行年 (JIS の場合は、発効年) を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版、Amendment 又は追補には適用しない。発行年 (又は発効年) を付記していない引用規格は、その最新版 (Amendment・追補を含む) を適用する。

a) JEITA 規格

JEITA RC-5200 コネクタ用語

JEITA RC-5238A IMT-2000 携帯電話用コネクタ A

b) JIS 規格

JIS C 5401 電子機器用コネクタ通則

JIS C 5402 電子機器用コネクタ試験方法

JIS C 60068-1 環境試験方法—電気・電子—通則

JIS Z 9015-1 計数値検査に対する抜取検査手順 第 1 部：ロットの検査に対する AQL 指標型
抜取検査方式

3 用語の定義

この規格に用いる主な用語の定義は、JEITA RC-5200 及び JIS C 5401、JIS C 5402 の用語の定義による。

4 形名

4.1 形名の構成

形名の構成は、次による。

$\left[\begin{array}{c} \text{コネクタを} \\ \text{表す記号} \\ \text{4.2.1} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{形式を表す} \\ \text{記号} \\ \text{4.2.2} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{コネクタの形状} \\ \text{を表す記号} \\ \text{4.2.3} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{コンタクトの} \\ \text{形状を表す記号} \\ \text{4.2.4} \end{array} \right]$
例	CN	— A	— A — M